

会議記録（要旨）

会議名		平成29年度 第2回杉並区子ども読書活動推進懇談会
日時		平成29年7月18日（火） 午後6時～7時50分
場所		中央図書館 視聴覚ホール
出席者	委員	津田委員、滝田委員、楠本委員、石川委員、沼田委員、渋谷委員
	事務局	中央図書館長、中央図書館次長、事業係（石栗係長、伊藤）、資料相談係（佐川係長）、企画運営係（杉本係長、鈴木、松澤）、管理係（松本主査）、済美教育センター（奈良係長）
配付資料		第2回杉並区子ども読書活動推進懇談会次第 資料1 杉並区子ども読書活動推進計画の改定について 資料2 推進計画における小中学生の未読率の変更について 資料3 子ども読書活動推進計画新旧対照表 資料4 事業別一覧 資料5 第1回懇談会会議記録 その他 委員持ち寄り資料
<p>本日は岩崎委員が欠席のため、司会進行は事務局が行う。</p> <p>1 メンバー紹介 前回欠席の渋谷委員、管理係松本主査の紹介</p> <p>2 子ども読書活動推進計画の改定について 〈事務局から改定の要点を説明〉（資料1）（資料2） 〈事務局から新旧対照表の主な変更点を説明〉（資料3） 〈質疑応答〉</p> <p>委員 表紙の目次を見る限り、変更が全然ないように見えるが？</p> <p>事務局 表紙に載るような全体の大きい構成に変更はない。中身の細かい部分では変更点がたくさんある。</p> <p>委員 未読者率の目標項目を0%から変更することは理解できるが、〈資料2〉のような説明資料がないと理解が難しいのではないかと？ 〈資料2〉の今後の扱いはどうなるのか？</p> <p>事務局 説明資料として組込むことはあると思うが、教育委員会等では説明にそれほど時間をとれないので、今後検討していく。</p> <p>委員 ボランティアは増加傾向にあるというが、今後の保育施設等での需要増を考えると足りていると言えるのか？</p> <p>事務局 増加と言っても漸増であり、必ずしも十分ではない。またボランティアの高齢化の問題もあるので、今後も確保には努めていきたい。保育者対象の研修には、区職員が出向くことも想定している。</p>		

委員	計画の期間内に中央図書館の改修が入るが、この計画はその影響も配慮しているのか？
事務局	改修期間中も、中央図書館のセンター館としての機能や、荻窪地域図書館としての機能は維持させる。ソフト面を工夫していきたい。影響が出ることは見込んで考えている。改修を機にYAコーナー等設備の充実も行っていきたい。
委員	授業増等で子供たちは忙しく、遊びや読書の時間が取れなくなっている。図書館はそうした状況も考慮してこの計画を策定しているのか？
事務局	幼い頃から本に親しみ、本好きの子どもを育てることが重要なので、図書館としても努力していきたい。
委員	オリパラ教育と言うとスポーツのイメージが強いので、言語、文化、歴史、障害者等についても言及した方がよい。またその媒体も本だけに限らないはず。
委員	学校でのオリパラ教育には、国際感覚の養成などスポーツ以外の要素も含めて5つの柱がある。そうした点を計画に取り込んでもらえれば学校としても好ましい。
事務局	図書館としてもオリパラ教育は学校と連携して取組んでいきたい。
委員	中央図書館改修中は、オリパラ関連の本などを中央図書館が提供するの難しいのではないか？
事務局	正直影響はあり、物理的な制約があるので、できるだけ影響が小さくなるようにしたい。学校図書館の充実により、学校の公共図書館への依存の度合いは低くなりつつあるが、改修によるハード面だけでなく、そうしたソフト面の改良も検討していきたい。今後の課題である。
委員	学校図書館の基本図書の充実は当然だが、本を揃えるのが難しい特科事項については公共図書館に頼れることが望ましい。
事務局	現在、各学校司書に団体用カードを渡して、地域図書館の窓口で直接借りてもらっているケースが多い。そうすることによってある程度のカバーは可能である。
委員	保育者への支援は図書館にかかる負荷が大きい。ボランティアのリクルートにもいろいろな方法があるので、そのあたりを工夫してもよいのでは。
委員	各図書館で読み聞かせ講座やボランティア募集は行っており、その気があれば門戸は開かれている。
委員	「調べ方講座」は誰が教えるのか？
事務局	夏休みに入ってすぐ開催があり、講師は事業係の担当者と岩崎先生を予定している。今年初めて試みなので、いろいろ工夫をしている。
委員	とても大事なことと思う。ただ、講座に来られなかった子たちへのレファレンス対応はカウンターだけでは難しいと思うが、どのように対応するのか？
事務局	児童カウンター、児童資料室カウンターで、職員同士情報交換をしながら対応している。
委員	学校では司書が、授業の内容に対して必要な本を学年別に紹介しているので、そういう対応ができればいいと思う。
委員	1回の講座では足りないので、講座の様子を撮影して広く公開するようなことを考えてはどうか？
事務局	とりあえず今回が最初なので、こちらも試行錯誤している。まずは実施してみて、子どもたちのナマ反応を感じて今後の基礎にしていきたい。

- 委員** 子供たちの反応をキチンと捉えることが大事である。
- 委員** 「蔵書の新陳代謝」という表現が分かりにくいと感じる。
- 委員** 情報発信はHPだけでなく、CATVなどの映像を用いるのなら、放映される場所を効果的に設定すべき。
- 委員** 高校の学校司書への働きかけというのは、どのようなことを想定しているのか？
- 事務局** YAの図書館利用促進のための取組。区から高校へのアプローチは難しいが、まずは働きかけから始めたい。ビブリオバトルなど、高校生の参加を狙う仕掛けは考えているが、まだ今後の研究課題である。
- 委員** 赤ちゃんや特別な支援を必要とする人ばかりでなく、誰でも利用しやすい図書館が必要。子供優先の計画を作っても、他の来館者が不快に感じればそれは問題であり、このままの計画では不安がある。
- 事務局** 改修時には一般向け閲覧席の拡充や、子ども・YA向きのコーナーの分離等を考えている。幅広い層が共存できる図書館にしたい。
- 委員** キャラクター使用もいいが、それに頼らないPR方法があってもいいのでは？
- 事務局** キャラクター一辺倒には問題があるが、子どもに親しみを持ってもらうための活用を考えている。
- 委員** 「蔵書の新陳代謝」の意味を確認したい。この表記のままでは、「古い本は一層する」という意味に読める。
- 事務局** 古い本を一層するという事ではない。理科・社会等の調べ学習系の本は積極的に入れ替えるが、ロングセラーの絵本、文学等については、買換えで常にきれいな状態を保つ、という意味。このままの表現では確かに問題がある。
- 委員** この部分については口頭でのフォロー等があってもいいのではないかな。

※質疑応答は以上で終了。今後意見があれば、7月25日までに事務局への送付するよう依頼した。

3 その他

〈委員が持ち寄った資料をもとに意見交換〉

- ・図書館と著作権に関するレポート
- ・各種新聞記事
- ・各種雑誌記事
- ・平成29年度小学生夏休みの推薦図書

〈次回開催予定〉

平成29年11月

具体的な日時は今後調整のうえ決定する